

徳島市加茂名小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 424名
- ② 学校教育目標・めざす児童像

○学校教育目標

故郷を愛し、主体的に学び、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる。

ー創造と信頼と協働による活力ある学校づくりー

○めざす児童像

- か・・・感謝心をもつ子
- も・・・目標（めあて）をもち、自ら学ぶ子
- な・・・仲よくし、相の手の立場になって考える子
- の・・・伸び伸びと、明るく元気な子
- こ・・・根気強く、最後までやり抜く子

- ③ 環境目標・テーマ

地域の人とともに地球にやさしい学校づくりをしよう。

～3Rをもとに暮らしを見直し、身の回りの自然を大切にして地球にやさしい学校づくり～



2 行動方針

- ① 環境についての学習に努めます。
- ② 節電・節水に努めます。
- ③ 3R運動の実践に努めます。
- ④ ごみの分別に努めます。



(校内を流れる袋井用水)

3 行動

- ① 環境についての学習



(ネイチャーゲーム)



(袋井用水を美しくする会の人を招いて)

2年生と5年生がネイチャーゲームを通して、身の回りの生き物に気づかせ、自然を大切にしようとする意欲をもたせた。4年生では、袋井用水を美しくする会の人を招いて、袋井用水を大切にしていることをわかった。そして、チラシやポスターを作って、用水沿いの手すりに掲示したり、全校や地域の人に用水を汚さないように呼びかけた。

② 節電・節水



(水道教室)

(環境コーナー1)

(節電・節水の呼びかけ)

4年生の水道教室では、水の大切さを学び、節水をしようとする意欲をもたせた。環境委員会が節電や節水のポスターを各教室や手洗いに貼ったりして、行動をよびかけている。また、環境コーナーでは電気と水道の使用量のグラフも掲示し、節電節水の効果が目に見えるようにしている。

③ 3R運動



(缶・ペットボトル・キャップの回収)



(食品トレー・プルタブの回収)

資源ごみの回収をして、分別収集の徹底や物を大切にすることを呼びかけている。

④ ごみの分別の啓発活動



(環境委員会の発表)



(環境コーナー2)

環境委員会の児童朝会での発表や2箇所の環境コーナーで、3Rやごみの分別の大切さを知らせて、行動を呼びかけている。

4 具体的効果

- ◆ 子ども達が主体的に活動できるよう支援しながら環境学習を計画・推進する中で、本校区を流れる袋井用水などの水環境に目を向け、自分の暮らしと結びつけて大切に守っていく方法を考えたり行動しようとする児童が増えてきている。
- ◆ 環境コーナーの展示物や節電節水のポスターなどの啓発活動により、教職員・児童の環境問題への意識づけができ、人がいなければ電気を消したり、水をこまめに止めたりして、電気や水の使用量の減少が見られる。

5 改善点

- ◆ 全校の意識をもっと高めるために、教科や総合的な学習の時間の中で環境についての学習を明確に位置づけ、どの学年でも計画的に進めていく必要がある。